

# 東日本大震災・おひさま在宅療養応援プロジェクトのお願い

医療法人社団 やまぐちクリニック  
理事長 山口高秀  
株式会社 グローバルメディック  
代表取締役 藤尾威文

2011年3月11日、1000年に一度と言われる未曾有の大災害が、日本を襲いました。

死者・不明者は2万5千人以上、避難者は30万人を超え、電力不足やその他の二次的被害を含めると影響を受けた人々はその数をはるかに上回ります。

故郷を失い、生活の場を失い、幸い命を失わなかった被災者たちも、健康の危機にさらされています。この状況は月余、年余にわたって持続することも考えられます。

医療法人やまぐちクリニック、株式会社グローバルメディックにおいて、我々の掲げる理念は「安心して安定した療養生活をできるだけ多くの場所で」であります。この理念のもと、当法人、当社が持ちうる資源の中で、支援活動を行いたいと思います。

## 東日本大震災・おひさま在宅療養応援プロジェクト

今回の震災においては津波被害が中心となっており、社会インフラの破壊に伴う医療的弱者の医療環境・介護環境支援環境の崩壊が特徴の一つとして数えられています。また、現地での即座のこれらの療養環境回復も困難な状態にあります。我々のプロジェクトにおいては、これらの医療ニーズの高い被災者に対する、療養環境の整備支援を全国的に行いたいと考えています。

被災者を受け入れることが可能な住居および施設と、その場所に在宅医療を展開可能な医師や診療所をあらかじめマッチングしておき、その情報を被災地に発信することで、医療ニーズの高い被災者の受け入れ情報を提供いたします。このことにより、医療ニーズの高い高齢者を中心とした被災者の移住先の情報を提供いたします。また、実際に移住希望がある場合には、情報を前もって移住先の医療機関に提供できることから、引っ越し後の療養環境を前もって構築することが可能になり、スムーズな受け入れが実現できると考えます。むろん、医療法人やまぐちクリニック、おひさまネットワークの活動可能な範囲に関しては、我々自身も受け入れを積極的に行います。

この活動により、被災地の方々に対して、避難先の施設で永住するにしても、故郷の復興のために帰還するにしても、それまでの間、少しでも安心して安定した療養環境を用意することにつながればと考えます。

大震災で失われた療養環境を少しでも早く取り戻すために、このプロジェクトに、何卒ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>  
おひさまクリニック横浜  
電話：050-3732-6711  
メールアドレス：ohisama-ouen@zaitaku-clinic.net